

—あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ—



2019

第59号

8月1日

とめ 市議会だより

ナイスバッティング!
(ふるさとスポーツ祭 東和地区大会)



目次

6月定期議会	2
5月特別議会	4
常任委員会報告	5
一般質問	8

不正副議長 不信任 決議案を可決



令和最初の定期議会となる6月定期議会は、各委員会のメンバーも変更され新しい体制でのスタートを切り、冒頭に議長・副議長の不信任決議案が可決されました。
また、上程された全28議案は、原案の通り可決され、一般質問では18名の議員が登壇し、市長等にその考えを質しました。

議長不信任案

登米市議会はこれまで、正副議長の任期は2年とするを議員間で申し合わせ、これを慣例としてきた。

議長基本条例及び、議長自ら作成した議会活動方針では、「議会は、市民の意見、利害等を多様に代表し、複数の人が話し合い、ものごとを決定する合議機関」として「登米市議会」としての「チーム力の強化」を図ると述べている。

議長は、話し合いや合議が最も大切とするその中、特段の協議もないまま、議長統投が「地方自治法に照らして問題ない」とする考えならば、「議員間の信頼と合意で作りに上げた登米市議会の最高規範である議会基本条例の精神を無視するもの」だ。
よって、登米市議会は、議長及川昌憲君を信任しない。

賛成討論

佐藤恵喜議員
任期は2年とすることを慣例としてきた。現在の議長になる前の12年間、6人の方々が議長に就任しその職責を果たされ、全て2年の任期を守った。

具体的理由を示すことなく破ることは誠に残念である。登米市議会の最高規範、登米市議会基本条例の精神と全く逆の方向を向く。ルールを守れなくて、正常な議会運営は出来ない。

反対討論

相澤吉悦議員
議会は、市民から信頼を得て、そして市民のためにどうあるべきか。議会を円滑に進めなければならぬのに、不信任案が出たことは残念である。

り、あるべきではない。2年とした取り決めもない。議員の任期4年の中で進む事が良い。

氏家英人議員
改革が求められている病院事業、厳しい財政運営、市職員の不祥事。議長は2年で交代という慣例に促われている場合か。

何ら不信任につながる理由、事案は見当たらない中、この提案理由では、市民不在の無用な議会混乱を招くことになる。

岩淵正宏議員
提案理由で、「任期を2年とする議員間の申し合わせ。」その記憶は全くない。

職責を利用して、自己の利益を得たとか、国益を損ねるような暴言を吐いたとか、市民に対して迷惑や不利益をかけたも

のがあれば当然と考えるが、この不信任は全く理解できない。
古い慣例を変えられない議会では改革はない。

田口政信議員

不信任決議は、その職責上何か不祥事を起こし、社会的非難を受けるようなことが理由として挙げられる。そのような事には該当しない二元代表制の一方である議会の議長が、2年ごとに交代することのデメリットは、首長との関係性や、活動

の継続性などで影響を与える。執行部当局と対等に向き合う体制を整える意味でも、4年間の継続は妥当である。

曾根充敏議員

そもそも議長職の出処進退は、現にその職にある者の専決事項であり、一定の期間をもって交代すべきとの考えは、単に椅子取りゲームのごとく議長のポストを扱うようだ。
不信任に値する所作は全くない。



副議長不信任決議案記名投票の様子

副議長不信任案

登米市誕生以来14年間、歴代の議長、副議長は2年で交代しており今般も特段の協議もないことから従前の慣例に従い、後継に引き継ぐものと思われていた。しかし、引き継ぐためには、副議長辞任の意思表示が必要であるため議会運営委員会、会派代表者会議において副議長の意思を質してきたが新たな任期の在り方を示さないまま本日に至っている。

賛成討論

佐藤恵喜議員
不信任決議は本当に重い議決だ。こういう事態にならないための努力がもっと必要だったと私自身も重く受け止めている。

議長の下、もつと正副議長任期の在り方について協議すべきであった。議会の意見がまとまっていなかったときに大事な慣例だ。慣例で決めたルールは守ろうではないか。

反対討論

岩淵正宏議員
不信任決議案を敬謙に出してよいものか。慣例を守らないとの理由で、不信任決議は到底納得できない。

「議員必携」を見ても、法で定めた4年とすべきとしている。慣例を変えられない議会であっては、改革は出来ない。



よって、登米市議会は、副議長伊藤栄君を信任しない。

浅田修議員

何故このような立派な正副議長に不信任が出されるのか、大変残念だ。慣例を言いながら慣例で議論したことは一度もない。慣例で決めたことでもない。

ポスト争いのため、慣例を使ってまでやらなくてはならないのか。これはポスト争いのための無駄な時間の浪費だ。

相澤吉悦議員

正副議長の任期を慣例で決めてきたというが、どの会議で決めたのか。全員協議会の場にして、そのような慣例は、私の記憶にはない。

今はみんなの力を結集させねばならぬ時だ。一丸となって頑張らなければならない。

◆議長・副議長不信任決議案記名投票の結果

議員名	議決結果	賛成	反対	採決結果																									
				1 上野 晃	2 曾根 充敏	3 佐々木 好博	4 須藤 幸喜	5 岩淵 正弘	6 佐藤 千賀子	7 熊谷 和弘	8 日下 俊	9 佐々木 幸一	10 氏家 英人	11 工藤 淳子	12 武田 節夫	13 関 孝	14 岩淵 正宏	15 欠	16 中澤 宏	17 浅田 修	18 佐藤 恵喜	19 田口 政信	20 沼倉 利光	21 相澤 吉悦	22 熊谷 憲雄	23 及川 長太郎	24 八木 しみ子	25 伊藤 栄	26 及川 昌憲
議案第3号 議長不信任決議案	可決	14	9	賛	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	除
議案第4号 副議長不信任決議案	可決	14	9	賛	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	除

※採決結果欄 (賛)は賛成、(反)は反対、(議)は議長、(除)は除斥。15番は欠番。

財産の取得

◎消防ポンプ自動車 CD-1型 1台

更新する車両は、平成3年度に導入され、27年が経過していることから、「消防車両整備計画」に基づき、更新するもの。

【配備先】

南方支団

【契約の相手】

株式会社川ポンプ製作所

【契約金額】

2095万2000円

◎高規格救急自動車 1台

更新する車両は、平成20年度に導入され10年が経過し、総走行距離も多いため、「消防車両整備計画」に基づき、更新するもの。

【配備先】

登米市消防署

【契約の相手】

宮城トヨタ自動車

【契約金額】

2741万400円



更新する同型の消防車 (CD-1型)

一般会計補正予算

未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金支給事業

令和元年11月分児童扶養手当の支給を受ける父または母でこれまでに法律婚をしたことがない方に、子どもの貧困に対応するため、臨時・特別の措置として給付金を支給するもの。

193万1千円

国民健康保険特別会計補正予算

被保険者の負担軽減を図るため、国民健康保険事業財政調整基金繰入金1億5436万3千円を減額し、税率の引き下げを行うことで、国民健康保険税額で2億3927万2千円を減額するもの。

5月15日開催された特別議会では、冒頭に職員逮捕の報道に関し、緊急質問がありました。報告4件、議案1件、常任委員会等の構成替えが行われました。

緊急質問

職員の加重収賄容疑事件について

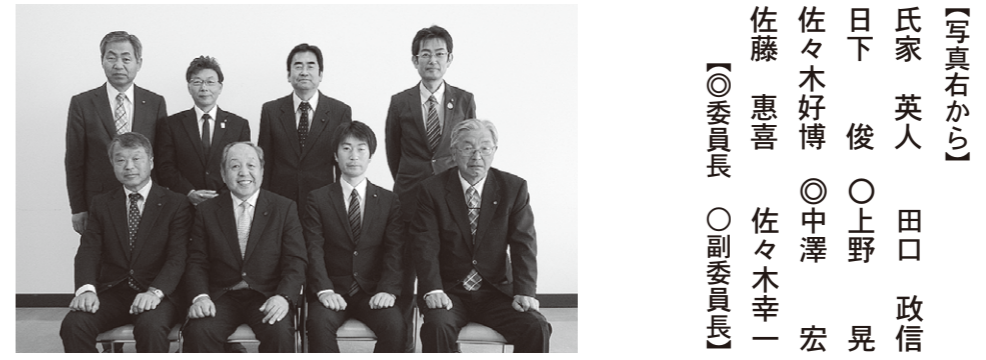
佐藤恵喜議員
収賄容疑で逮捕された今回の事件は、市政への信頼を大きく損なうものであり、到底許されないことである。総務企画常任委員会の調査の中で、「何ら問題がない」という説明を受けた。しかし、このようなことを踏まえれば、これまでの調査の範囲、その方法でいいのか、もっと実態をつかむ事務のあり方をどう考えているのか。
A 職員間の調査であり、十分な点があったと思う。さらに厳しい対応について検討していく。
B 附帯決議で、「同額落札にならないためにも、例えばランダム係数の導入、総合評価制度の導入など、入札制度のあり方を改善すべき」としているが。
A 昨年実施してきた改革は、これで十分とは思っていない。さらに高度化していく方策について検討していく。
C 予定価格設定にあたり、「歩切」をやめたことで、設計価格がわかれば予定価格、最低制限価格が類推できる。根本的な改善が必要ではないか。
A 国の指導がある中で、どのようなことができるのか、

検討していく。
C 市当局が再発防止のためにどう取り組んでいくべきか。
A コンプライアンスと規律の徹底を進め、さまざまな改革をしていく。
◆30年2月定期議会に工事請負契約の締結について上程される
◆最低制限価格と落札金額が同額のため、疑義が出る
◆議案・工事請負契約の議決に至らず、更なる調査の必要ありと総務企画常任委員会に付託
◆委員会で3回に渡り、設計及び入札・契約事務にあたる担当者、決裁を行う管理職及び部長等に出席を求め調査
※調査内容
①外部への情報漏えい、外部からの問合せはなかったか
②関係書類の保管方法
③市設計内訳と落札業者設計内訳の内容確認、等
◆総務企画常任委員会に付託された案件については、瑕疵は見受けられなかったとし、可決すべきものと決定
◆30年3月特別議会で工事請負契約を可決

委員会等の構成が新たに

議会運営委員会

議会改革推進会議



【写真右から】
氏家 英人 田口 政信
日下 俊 ○上野 晃
佐々木好博 ○中澤 宏
佐藤 恵喜 佐々木幸一
【◎委員長 ○副委員長】



【写真右から】
田口 政信 八木しみ子
岩淵 正弘 ○曾根 充敏
工藤 淳子 ○関 孝
中澤 宏 及川長太郎
【◎委員長 ○副委員長】

総務企画常任委員会

デマンド型導入は十分な話し合いと説明を



公共交通は新たなネットワーク化が図られる

▼公共交通の見直し方針 (2月21日調査)
本市では、31年度で市民バス及び住民バスの運行契約が終了することから、市内全域の公共交通を取り巻く実態を調査・把握し、一体的な公共交通ネットワークの実現に向け、これまでの地域公共交通のあり方を見直すこととした。主に、デマンド型乗合タクシー運行事業導入の考え方が示されたが、運営主体をコミュニティ組織等としていることに問題はないか。また、運行区域を旧町域内を基本としていること、さらには事業を実施する区域では住民バスの運行を廃止とすることなど、課題は多いと考える。導入については、請負側のコミュニティ組織との十分な話し合いと説明が必要であろう。一方で、市民バスについては利用者負担が100円のままなのか。厳しい財政運営を強いられている中、利用者負担を200円とするなど、思い切った考え方も必要ではないか。熟考を求めたい。

入札・契約制度について

(3月22日調査)

30年7月から導入された、ランダム係数を用いて最低制限価格を設定するなどの「新たな入札・契約制度」について調査した。入札の透明性・公正性確保の点では有効に機能していると考えられるが、今後にも常に検証を怠らず、本市ならではの制度となるよう改善を図っていくよう提言したい。

新たな総務企画常任委員会

市の総合計画や財政、税務、防災・消防など、総務部、企画部の事務、水道事業及び他の委員会に属さない業務に關する事項を所管する。



(写真右から)
曾根 充敏 田口 政信
工藤 淳子 ○日下 俊
佐藤千賀子 ○岩淵 正弘
中澤 宏 八木しみ子
【◎委員長 ○副委員長】

教育民生常任委員会

PTAと一緒に 望ましい 教育環境の確立を



ワールドカフェ方式で行われた意見交換会

▼PTA連合会との意見交換会

(2月6日調査)

小中学校再編の検討が始まるにあたり、登米市PTA連合会と「登米市の学校未来像を考える」というテーマで宝江ふれあいセンターを会場に保護者44名に参加いただき、意見交換会を行った。

今後も引き続き意見交換会を行っていき、一緒に望ましい教育環境を確立していきたい。

また今回の意見交換会では初めて「ワールドカフェ方式」を導入した。相手の意見を批判することなく、前向きな対話を重ねることで、短時間にもかかわらず、自分の考えを整理することができ、新たな気づきを得ることができた。これからも、多様な場面で活用していければと考える。



活発な意見交換が行われました

▼その他調査項目

- ・誕生祝い金条例の一部を改正する条例
- ・歴史資料館等における共通券の発行に関する条例
- ・郵便局での証明書交付事業
- ・心身障害者医療費助成制度の対象者拡大について
- ・(仮称)プレミアム付商品券事業の概要について

産業建設常任委員会

県事業の促進を図るため、 意見書・要望書を提出



宮城県土木部長へ意見書を手渡した

▼意見書・要望書の提出

(4月19日調査)

より地元のニーズを事業者である宮城県に伝えるため、県庁を訪問し、県・県議会に働きかけた。

今回は、「みやぎ県北道路未計画区間の事業化」、「長沼川河川改修事業」および「河川堤外支障木への対応」について、早期に事業を図るよう直接、意見書や要望書を渡した。

▼振興協同組合との意見交換会

(2月5日調査)

「とめつこマネー発行事業の活性化について」と題し、発行元である登米市振興協同組合と意見交換会を行った。「加盟店としてのメリットが少ない」「年会費・換金手数料が負担だ」、「人気のあるプレミアム商品券については販売数が少ない」など、多くの現場の声を聴くことが出来た。



振興協同組合との意見交換会

メリット・デメリットを整理し、課題解決を図りたい。

▼有機センター現地調査

(2月26日調査)

今後、集約化が計画されている市有機センターについて、現地調査で現状を確認した。ストックマネジメントの実践により利用率の高い施設にする必要がある。

新たな教育民生常任委員会

教育行政(小・中学校・幼稚園など)保健・福祉、医療(病院)や、ごみ処理など、教育委員会および市民生活部、医療局等に関する事項を所管する。



(写真右から)

- 岩淵 正宏
 - 伊藤 栄
 - 佐々木好博
 - ◎佐々木幸一
 - 沼倉 利光
 - 須藤 幸喜
 - 佐藤 恵喜
 - 武田 節夫
- 【◎委員長 ○副委員長】

新たな産業建設常任委員会

農業や農地、商工業などの産業のほか、道路整備や下水道整備など、産業経済部、建設部、農業委員会に関する事項を所管する。



(写真右から)

- 関 孝
 - 相澤 吉悦
 - 熊谷 憲雄
 - 熊谷 和弘
 - 浅田 修
 - ◎氏家 英人
 - 上野 晃
 - 及川長太郎
- 【◎委員長 ○副委員長】

問 市道環境整備について



相澤吉悦 議員

答 現場を確認しながら進めて行く

問 市道の両側に樹木が成長し、枝が道をふさいで車両が通行するのに支障をきたす道路が見受けられる。私としては、登米市の指導の下、地域と

連携をとり、樹木の伐採、枝払い等をすべきと思うが。

答 本市指導の下、地域と連携した樹木の管理については、是非取り組みたいと考えている。

問 市道拡幅工事が終わっている市道で、出入口付近が狭くそのままの状態です。早急に対応策を講じるべきと思うが。



雪の重みで道路をふさぐ樹木

答 現場を確認しどのような整備がいいのか協議をしながら進めて行く。

問 水の里ホールでイベントを開催する際に、イベント主催者が音響装置の持ち込み、操作を外注している。私としては、東北一と言われる水の里ホールの音響を幅広く利用してもらいたいと思うが。

答 多額のお金をかけて最新の音響設備をした施設であるので、利用団体と祝祭劇場と連携を図り利用者が増えるような取り組みをしていく。

問 これから真夏を迎えるにあたり、子どもたちの学習環境整備のため、エアコンを設置するとしている。早急に行うべきと思うが設置についての進捗状況は。

答 工事請負契約の締結は8月までに完了する。来月2月末までに設置工事を完了する予定である。

問 市民病院中長期計画の進展度は



佐々木好博 議員

答 概ね予定通りに進んでいる

問 現在までの市民病院中長期計画は計画通りに進んでいるのか。

答 概ね予定通りに進んでいるが、今後も資金不足解消や経営改善に取り組んでいく。

問 日本の医療制度は「国民皆保険」、「診療のフリーアクセス」、「医者の自由開業制」、「診療の出来高報酬制」と認識しているが、国民皆保険制度を維持するためにその他の項目に制限がかけられていくものと理解しているが、間違いないか。

答 国が目指す医療改革の方向性としてはその流れにあると思う。

問 医師不足の問題解決には制度だけでなく、医師たちが何を求めているかということも考え、それに応えていくことが必要。病院経営の改善など現在ある問題を解決していくためには、市民との情報共有が大切である。また、改革には国の医療政策の変化へ迅速に対応するための「医業分離」の構築が必要と考える。先行して独法化を果たした他公立病院の経営を見

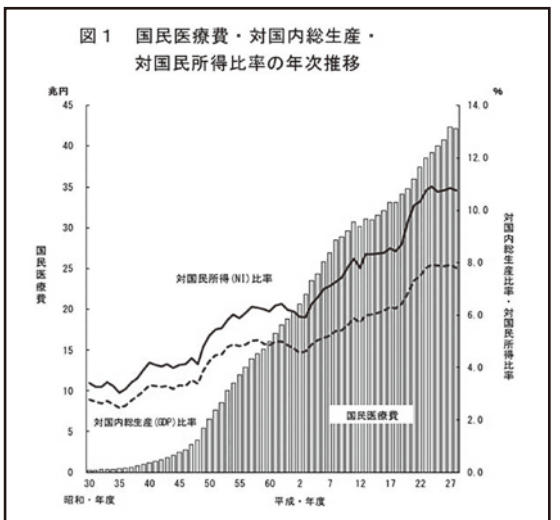


図1 国民医療費・対国内総生産・対国民所得比率の年次推移

問 中高年のひきこもりの復帰支援を



熊谷和弘 議員

答 社会参加や自立に向けて支援する

問 内閣府は半年以上にわたり家族以外とほとんど交流せず、自宅にいる40〜64歳のひきこもり状態の人が、全国で推計約61万3000人になると

の調査結果を公表した。現代の社会において、80代の親、50代の子の家族が孤立し困窮する事例は「8050（はちまるご一まる）問題」と呼ばれている。今までは問題のさらなる深刻化が危惧される。

本市においても国の支援事業を導入するとともに、他自治体の先進的な取り組みを参考にし、



中高年のひきこもりの社会復帰支援を推進すべきと考えるが。

答 本市においては来年度策定する「登米市地域福祉計画」の見直し時期に合わせ、地域福祉計画第3期計画で、ひきこもり対策を講じていく考えだ。

本市においても早急に調査すべきと考えるが。

答 今度の地域福祉計画のアンケート調査の時期に合わせ、調査方法を検討する。

本市のひきこもりの相談窓口はどこか。

答 福祉事務所の生活困窮者自立支援相談、健康推進課で行っている心の相談である。

ひきこもりの人の交流サロンや居場所についての本市の現状は。

本市にはないが、県の支援センターが大崎市に設置されている。

問 赤字解消のための病床数の削減は



浅田修 議員

答 病床数を200床に減少させる

問 患者ニーズ、疾病構成と診療科ごとの必要医師数は。

答 許可病床258床の病棟を運営するには25人の医師が必要であるが、現時点で18名である。今後内科や外科、整形外科、需要が増すと予想される泌尿器科の医師の確保が必要である。

よねやま診療所の透析機能を市民病院南館4階に移転する計画である。

患者が他の地域へ行くという状況をどう分析、対処しているのか。

入院では約半数の患者さんが市外の医療機関を利用している状況。脳疾患や心臓疾患などの高



市民病院に移転される、よねやま診療所の透析施設

度な急性期医療以外の二次救急までの救急医療に対応していく。

独法化を考えると資金不足の解消、経営改善に向けた本格的な対応が優先されるのでは。

若い研修医が勤務できない環境と常勤医師の高齢化。3病院4診療所体制という医療スタッフの分散による非効率な医療提供。病床稼働率は



67%と低く、患者一人一日当たり診療単価が低いことなどが、経営悪化の要因。

今後、病院・診療所の再編ネットワーク化への取組や基幹型臨床研修病院の指定を目指す。

病院新築移転は、老朽化が進んでいる。中長期計画の中で検討する。

問 日本遺産認定に向けた取り組みは

答 再度申請をする



伊藤 栄 議員

問 令和元年度の日本遺産認定は5月に発表になった。登米市が石巻市とともに申請をしていた「母なる大河・北上川とともに陸と海をつなぐ道」は認定には至らなかった。

答 原因は文化財や伝統芸能、食文化等数多くのストーリーを盛り込み過ぎたため、テーマに基づいたアピールが薄くなったと分析をしている。



北上舟運で栄えた廻船問屋



問 保育所希望データの提供を

答 入所や待機の状況は公表できる



曾根充敏 議員

問 保育所等の入所希望について、第1希望の施設に内定出来ない状況が繰り返されている。ミスマッチはなぜ起こるのか。

答 今年度の入所者で、第1希望の施設に入所した割合は89%だ。要綱に定める指数を用いて、利用調整をする。各保育所からは、年齢ごとの受け入れ可能数の報告を受け、その枠に調整している。

問 設定した定員と希望数に差が生じている。その都度、枠の見直しはしないのか。「枠ありき」ではないのか。

答 施設に定められた面積があるので、第1希望を全て受け入れることはできない。

問 保護者にも、各保育所の年齢ごと充足状況などを開示し、申込時の参考にさせてはどうか。

答 10月の入所状況や待機状況であれば出来ないことはない。

保育所・認定こども園における一次選考申込状況

名称	a	b	c	d
	入所者数	定員	第1希望申込数	第1希望入所者数
迫新田保育所	31	30	31	28
中田保育所	102	90	104	88
豊里保育園	111	120	116	107
よねやま保育園	113	90	113	106
右越保育所	67	60	68	64
公立合計	424	390	432	393
私立合計	1287	1259	1299	1197
特定教育・保育施設計	1711	1649	1731	1590
地域型保育事業	212	200	206	125

一次合格率



問 学校再編方向、本当に正しいのか

答 町域に一つは、小学校を残したい



田口政信 議員

問 学校再編の方針を複式学級の解消と学年単学級の解消をするとし、町域の一つは残したいとしているが論理矛盾はないのか。

答 理由は文化財や伝統芸能、食文化等数多くのストーリーを盛り込み過ぎたため、テーマに基づいたアピールが薄くなったと分析をしている。

問 数年後に複式や単学級の学校が出てくるが、それでも町域一校の配置か。

答 児童の体力や保護者の負担を考慮し配置をしていく。

問 現計画を推進し、統合準備委員会で検討していきたい。

問 市長が目指す独立行政法人の考え方とスケジューリングは。

問 建て替えや大規模改修が必要となる施設数は現在の何%位を考えているか。

答 今後20年で25%の縮減目標を設定する。施設数は、743施設であり総面積49万8千㎡とし個別計画を策定し進める。

問 空き校舎の活用と年間の維持費はいくらか。

答 民間等に譲渡して有効利用できるような取り組みを進めたい。空き校舎でも、維持費は年間130万から280万円経費がかかる。

問 学校跡地を利用した図書館構想も考えられるか。

問 市立病院の建て替えや大規模改修についてはどのように考えているか。



利活用が待たれる旧上沼小学校



学校再編の方針は

問 新管理者が目指す病院事業の方向は。

問 大規模改修の場合、迫が10億6千万円、米山が5億5千万円で可能だが、年間維持費が2千万円見込まれる。

問 市立病院の建て替えや大規模改修についてはどのように考えているか。

問 市立病院の建て替えや大規模改修についてはどのように考えているか。

問 教員の長時間労働の解消を



佐藤恵喜 議員

答 引き続き改革に取り組む

問 社会問題になっていく教職員の長時間労働。前教育長は昨年の私の代表質問に対して、「子どもと向き合う時間をしっかりと確保する。あらゆる

方法で業務改善に取り組む」と答弁した。どこが改善されたのか。答 市内を5ブロックに分けての事務の共同や、会議の効率化、定時退庁の設定、学校行事の精選、部活動の休養日設定などで改善を図ってきた。問 教育委員会提出の資料にあるように、勤務時間は減っていない。教育長は改善されていると本

当に思っているのか。

答 5月の校長会議で、3点ほどの指示を出した。「手応えはあるな」と感じている。

問 文科省は、「勤務時間の管理は自己申告方式ではだめだ。ICTの活用やタイムカードによる客観的把握をするように」と通知しているが。

答 ご指摘の方向に考えている。ICTやメールを活用して、なるべく時間がかららない方法を考えている。

原発事故時の住民避難

問 原子力災害対策指針では、原発30キロ圏の住民は、5キロ圏内の住民避難を優先し自宅退避をすることになっている。現実に沿わない指針では。答 U P Z (30キロ) 圏内の5市町の会議で避難計画の在り方についてしっかりと意見を聞きたい。



問 給食実費徴収の対応と保育士待遇改善を



工藤淳子 議員

答 国の取り扱いが示され次第検討する

問 保育料無償化は、給食の実費徴収など問題が見えてきている。現在、給食費は保育料の中に含まれ、保護者の所得に応じた応能負担で、自治体が徴収してきた。しかし

実費徴収が導入されると、保育施設の事務作業が増大する。給食費は7500円の予定である。様々な理由で支払えない家庭が出たとき、どう対応するのか。半年ないし1年滞納したら退園となる事態にならないか。また保育士不足が大きな問題である。保育士の待遇改善と保育の質の向上こそが今、最も必要ではないか。



僕たち、なかよしこよし

小中学校のエアコン設置の状況は

問 夏の猛暑に向け、計画はどのようになっているのか。答 遅くとも令和2年2月までに、全ての学校への設置工事を完了する予定である。

高齢者や子育て世帯に

問 市営住宅の建て替え事業の計画は。答 多様化するニーズに対応できるよう取り組む。



問 ピクトグラムを活用し外国人集客を



須藤幸喜 議員

答 案内機能の充実に努める

問 情報を伝えるために使用する絵文字や記号であるピクトグラムは、視覚的な図柄で表現されている。公共機関やショッピングモールなどでは、

訪日外国人や子ども達そして高齢者の方々にも直感的に内容がわかるとして広く使用されている。本市においても取り組みが必要と考えるが。答 活用については、もう一度確認をし、積極的に検討する。

市職員のハラスメント防止に関する

ハラスメント防止に関する市の対応について

市職員のハラスメン



ト防止等に関する規則の全部改正及び指針を作成したが、職員へ教育の徹底は図られているか。

答 職員を対象とした各種ハラスメント防止に関する取り組みとしては、管理監督職員を対象とした研修会を実施する。発生させない、許さない職場づくりを目指し、さらなる取り組みを進める。

問 規則、指針等をつくるだけではだめだ。そのことを守らせなければならぬし、研修会の実施も可能な限り行わなければならない。ハラスメントは無くして当たり前であり、出さないことを望む。

答 一つでもあつてはならないものだと思う。根絶することが必要であり、働きやすい環境をつくるのが絶対に必要な事である。一層力を入れて行く。

問 児童生徒の命を守る政策を



岩淵正宏 議員

答 地域一体の見守りで安全確保対策

問 一年前、大阪北部地震でのブロック塀倒壊で通行中の小学生が巻き込まれた。今年5月には、川崎市で通学途中、暴漢に襲われたニュースが続いた。

児童生徒の登下校安全対策について、現状と通学時危険個所の把握はなされているのか伺う。

答 交通安全教室を開催し、指導を行っている。不審者対策として、防犯ハンドブックの活用や不審者情報メール送信、地域の見守り協力などで子供たちの安全を守っている。

通学路は国・県・警察・市の関係部署で合同点検



通学路にも危険がいっぱい!?



を実施し、防犯灯の設置や区画線の塗り直し、車速を抑える効果が期待されるドットラインの新設など安全の確保に努めている。

問 命優先の政策、犯罪抑止の観点から防犯カメラを設置してはどうか。

答 大阪高槻市では市立小学校41校の通学路に1校当たり平均10台のカメラを設置した。地域の見守り隊は平日のみ、子供たちは土日少の練習や公民館などに遊びに行ったりもする。

問 入札制度、予定価格の事前公表は

答 公正で競争性のある制度を目指す



岩淵正弘 議員

問 平成30年7月からランダム係数を用いた最低制限価格設定の見直しや、低入札価格調査制度の導入を行い、入札・契約制度の改善を行ってきた。

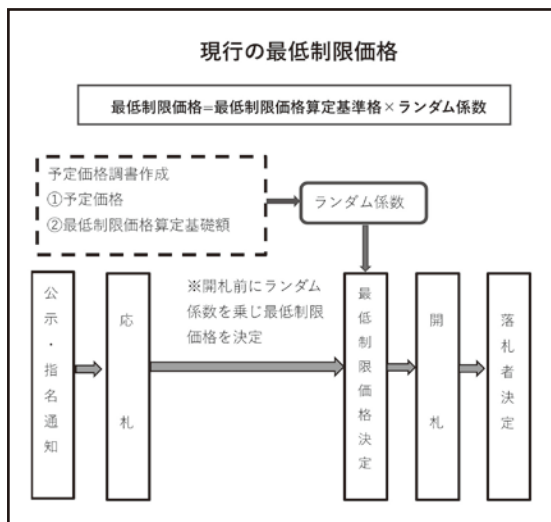
答 かかる改善から一年が経過するが、現行の制度をどのように検証しているか。また、課題や新たな改善点に対してどのように対応していく考えか。

また、現行の低入札価格調査制度の運用については、適用範囲の拡大について検討するもの、発注時期の平準化が課題であると認識している。

問 「予定価格の事前公表」は、職員に対して予定価格を探る等の不正行為の防止につながり、法令上の制約もないが、導入の考えは。

答 事前公表にすれば、予定価格を下げる等、不正行為の防止になる反面、積算能力が不十分な建設業者でも、公表された金額を目安に応札する事態が生じる。

また、競争性が制限され、落札価格の高止まり、入札談合が容易になる等の弊害が考えられる。よって、より公正で競争性のある入札制度の実施の観点から、他自治体の状況も踏まえて、導入について検討したい。



問 幼保無償化開始に向けた準備は

答 混乱が生じないように丁寧に取り組む



八木しみ子 議員

問 国において幼保教育、保育の無償化のための改正案が本年5月10日に可決成立し、10月から完全実施されることになった。実施に当たって混乱が生じないか心配である。本市における準備状況、課題について問う。

答 幼児教育、保育の無償化は3歳以上の幼稚園や認可保育所、認定子ども園などの利用料が無償化される。3歳未満児では住民税の非課税世帯を対象に認可保育所などの利用料が対象となる。

また、保育の必要性がある子どもは幼稚園の預かり保育や認可外保育施設一時預かり事業なども対象となる。

今後は無償化の対象となる施設の確認や保育の必要性の認定、給付事務などが新たに発生するが、限られた期間において作業を終える必要がある。



子どもたちが集まる豊里保育園



問 民法第三編の改正に伴う影響は

答 今回の改正は大きく影響がある



上野 晃 議員

問 約百二十年の間、契約など、法律行為の基礎であった民法第三編が改正され、来年4月1日から施行される予定となっている。

答 今回の改正は多岐に渡るが、特に自治体業務に広く影響を及ぼすものとして、時効期間の統一や中断・停止の文言見直し、また、保証債務に関する規定の整備などが挙げられる。

遺漏のない対応が求められることから、職員向

市政への影響について、どのように対応するか。

答 今回の改正は多岐に渡るが、特に自治体業務に広く影響を及ぼすものとして、時効期間の統一や中断・停止の文言見直し、また、保証債務に関する規定の整備などが挙げられる。

入札関係について

問 「登米市入札制度等改革検討委員会」の概要は。

答 副市長を委員長として常設し、管理・調査体制の強化などについて検討する。

問 迫児童館新築工事を巡る贈収賄事件を受け、公正入札違約金の請求はなすのか。

答 契約に基づき、請負代金額の百分の二十を請求する。

問 市職員が加重収賄などの容疑で逮捕されたことを受け、市長及び副市長が給料の減額などの措置を講じる考えはあるか。

答 現時点では具体的な答弁はできないが、市長・副市長共に、そうした思いはある。



問 生活支援体制整備事業について

答 高齢者の社会参加、孤立化を防止する



佐藤千賀子 議員

問 生活支援体制整備について効果について

答 高齢者の集いの場づくりとして実施している趣味の活動や健康づくり生きがい活動を通して、高齢者の社会参加が図られ孤立化の防止につながっている。生活支援コーナーコーナーが中心となり地域の実情に精通したコミュニティ組織やボランティアなどの福祉団体の関係者とともに、住民主体の支援体制づくりに取り組んでいる。



みんなで楽しくゲーム遊び



市民病院のあり方は

問 職員末端まで独法化などになった場合、納得するような話し合いが行

答 われているか。非公務員となる独法化の内容については、全員に詳しく周知しているところまではいっていない。

答 その状態などを開業医の先生や福祉施設の職員から話を聞き、市民病院の地域連携室が窓口になり、地域包括ケア病棟で受け入れている。

問 精神障がい者への支援は人たちに對する支援で、レスパイトといわれる介護者の受け入れるところはあるのか。

※レスパイトとは、入院によって一時的に休息をすること、本人や介護家族が短期間入院すること。

あなたの声

市民メッセージ

わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

「ワクワク生きる」



むさしひろゆき
武蔵寛亨さん
(登米)

自分の人生、自分の一生涯の中で、ワクワクしながら、どれだけの時間を過ごせるだろうか。毎日が楽しいワクワクの連続だったら、どれだけ楽しい人生を暮らせるだろう。空想しながら、そんな人生を期待しながら、毎日ポーと生きてるのが現実です。「ワクワクする毎日」「ワクワクしながら生きる」って何？好きな事は時間が過ぎることも忘れ、食事することも忘れ、しまいにトイレに行くことも忘れ熱中します。没頭して、他は何も見えなくなりませす。ハプニングや、チャンスは、向こうからやってくる。何事も他人のせいに行けないなら工夫して取れるように努力するもの。何事も他人のせいにならないで、まず自分から動いて自分を変えていかないと、全ての事が確実に変わらないんだよね。

登米市は、とてもいいまち



えんどう おさむ
遠藤修さん
(中田)

私の家族は震災の影響で大きく人生が変わりました。それはある日突然の出来事でした。避難所・仮設住宅生活と不安な毎日だったのを覚えています。生活もボランティアや周囲の支援を受けながらの日々でした。進まぬ復興と自分の年齢と葛藤の末、登米市に移り住む決断に至りました。新生活先が移住先となれば不安だらけでした。ただ時間経過と共に近隣の方々の温かさを知り、少しずつ地域に慣れ親しむようになり今では地域行事などにも声がけ頂き楽しく生活しております。心から有り難く感謝しております。今後は微力ながら地域やお世話になった方々へ恩返し出来たらと考えております。終わりにここに登米市はとてもいい所です。ただ災害は忘れたころにやってきます。家族、地域、行政が協力し、共に連携の取れた社会になる事を希望しています。

登米市に思うこと



みうらまさひと
三浦克仁さん
(津山)

人口の減少、税収の減。先日の広報でも財政難が報じられていた。「予算がなくて何もできない」という話をよく聞く。しかし「ピンチはチャンス」と捉え「他所にあって登米に無いものを探し、求める」のではなく、今あるものにもう一度目を向けてみるのも良いのではないだろうか。話題の外国人観光客も日本人が、地元の人か思いもよらなかった所、物に魅力を感じて大挙押しかけたたりしている。「モノ消費からコト消費へ」と言われて久しいが野菜ひとつみても姿形は同じかもしれないが生産者の思い、工夫はそれぞれある。見方を変え、プレゼンを工夫するだけで注目されたりする。他所の人から注目されたり褒められたりすると自信になり自慢したくなる。こんなところから交流人口が増え移住を考える人も出てくるのではないだろうか。

平成30年度 政務活動費収支報告

政務活動費は議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派または会派に属さない議員に対し、議員1人当たり月額2万5千円を交付しています。

登米市議会では用途の透明性を図るため、収支報告書に全ての領収書の添付を義務化・申し合わせています。支出額が交付額に満たないときは、その残額を返還することになっています。なお、収支報告に係る関係書類はどなたでも閲覧でき、ホームページでも公開しています。

(単位:円)

会派および議員名	大地の会	新・立志の会	登米・みらい21	太陽の会	日本共産党市議団	須藤幸喜	熊谷和弘	浅田 修	伊藤 栄	
議員数	7人	7人	3人	2人	2人	1人	1人	1人	1人	
交付額	2,100,000	2,100,000	900,000	600,000	600,000	300,000	300,000	300,000	300,000	
支出項目	調査研究費	1,493,027	901,782	531,127	354,531	48,000	24,000	224,984	76,470	136,615
	研修費	7,513	0	0	0	162,456	0	687	60,000	0
	資料作成費	29,936	0	22,824	65,451	0	0	0	0	0
	資料購入費	24,300	0	0	3,127	3,410	0	0	0	0
	広報費	0	0	167,962	114,966	139,190	252,126	0	0	0
	広聴費	3,600	0	0	2,814	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計	1,558,376	901,782	721,913	540,889	353,056	276,126	225,671	136,470	136,615	
戻入額	541,624	1,198,218	178,087	59,111	246,944	23,874	74,329	163,530	163,385	

令和元年度

会派構成

会派とは、政策を中心とした同一の理念を共有する議員の集団をいいます。

※ 会派を結成するには2人以上が必要です。

新・立志の会

代表 岩淵正宏
経理責任者 関孝

佐々木好博
日下俊
八木しみ子

大地の会

代表 沼倉利光
経理責任者 佐々木幸一

佐藤千賀子
武田節夫
中澤宏
熊谷憲雄
及川長太郎

登米・みらい21

代表 田口政信
経理責任者 及川昌憲

日本共産党市議団

代表 佐藤恵喜
経理責任者 工藤淳子

太陽の会

代表 氏家英人
経理責任者 曾根充敏

令和の会・登米

代表 岩淵正弘
経理責任者 上野晃



人事

〔5月特別議会〕

◆議員の辞職について
伊藤 吉浩氏

〔6月定期議会〕

◆監査委員の選任に同意
岩淵 正宏氏

人権擁護委員候補者の
推薦に同意

佐々木 喜代子氏(登米)

佐々木 武雄氏(豊里)

金 正男氏(石越)

議会からのお知らせ

9月定期議会

9月6日(金)開会予定

傍聴してみませんか。

本会議は、簡単な手続きで、個人でも団体でもお気軽に傍聴することができます。

詳しい議会日程は、議会ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

議会中継がスマホで見られるようになりました

登米市議会のインターネット中継がスマートフォンからも見られるようになりました。令和元年6月定期議会分から見られます。



※スマートフォンでの視聴はパケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信料が高額になる場合がありますので注意してください。

広報広聴委員会



【前列】

関 孝

○佐々木 好博

○熊谷 和弘

岩淵 正宏

○後列

曾根 充敏

岩淵 正弘

佐藤 千賀子

上野 晃

須藤 幸喜

○委員長
副委員長

あとがき

広報広聴委員会も新体制でスタートしております。

編集委員は、8名が留任で、1名が再任です。

これからもさらに力を合わせ、読みたくなる議会だよりを目指してまいります。

今月号からは一般質問など、紙面では伝えきれない内容をQRコードにより、議会録画

中継とつなぎご覧いただけます。

さて、2020年東京五輪・パラリンピック

に向けて、

「ボート競技でポールの事前合宿地に長沼ボート場が決定しました。開催まで、あと約1年。大会が今から楽しみです。」

議会のホームページを開設しています。

登米市議会 検索

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。

<https://www.city.tome.miyagi.jp/gikaijimu/shisejoho/gyose/shigikai/index.html>

議会のfacebookも開設しています。

登米市議会



いいね!をお願いします



議長 及川 昌憲

副議長 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜

委員 岩淵 正弘

委員 曾根 充敏

委員 佐々木 好博

委員 熊谷 和弘

委員 岩淵 正宏

委員 関 孝

委員 佐藤 千賀子

委員 上野 晃

委員 須藤 幸喜